

CVC・PICCの安全管理・教育体制の構築に携わる皆様へ

2018年度 第2回

CVC研修会開催のお知らせ

～安全なCVC・PICC穿刺を普及させるために～

認定病院患者安全推進協議会では、中心静脈カテーテル留置術（CVC）および末梢挿入中心静脈カテーテル（PICC）の安全確保を目指し、活動しています。

本研修会は、院内でCVCやPICCの安全管理・教育体制を整えるために必要な知識・手技などを身につけていただけるプログラムとなっております。ぜひ参加ください！



日時

2018年8月17日（金） 9:00～17:00

※第2回以降の日程は裏面をご覧ください。

場所

日本医療機能評価機構 9階ホール

東京都千代田区神田三崎町1丁目4番17号 東洋ビル

対象

院内でCVC・PICCの安全管理・教育体制の構築に取り組まれている方

臨床経験
7年以上
(目安)

形式

講義、ハンズオン、グループワーク

※講師・プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

定員

20名（1会員病院につき1名様まで）

費用

¥ 40,000（消費税・昼食代込）

申し込み期間 2018年6月13日（水）～6月19日（火）

※申し込み多数の場合は抽選となります。受付終了後、2週間以内に抽選結果をお知らせします。

※当協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/>)よりお申し込みください。

申し込みには会員専用サイトへのログインが必要です（要ID、パスワード）。

問い合わせ：



公益財団法人日本医療機能評価機構

教育研修事業部 認定病院患者安全推進課 担当 大鹿・小泉

<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/>

03-5217-2326（直通）

プログラム

4～5名の小グループによる研修です。

- ◆ デモやハンズオンによる標準的手技の確認
 - ◆ 講義やグループワークを通じた、CVC・PICCの安全管理・教育体制を整えるのに必要な知識・手法※の検討・共有
- ※CVC・PICCに関する標準手技、合併症、安全管理・教育体制の展開方法など

プログラム概要

午前 (9:00～12:10)	・ 開会挨拶 ・ 講義「中心静脈穿刺に必要な解剖」 ・ 講義「警鐘敵事例提示」 ・ 各グループでエコー体験 ・ デモ、ハンズオン（交差法・平行法）
ランチョンセミナー (12:10～13:10)	・ 講義「PICC」 ・ 講義「穿刺器材から見たCVC 合併症の防止」
午後 (13:20～17:00)	・ 講義「PICCの概要と手技、合併症」 ・ デモ、ハンズオン（PICC） ・ 講義「安全管理体制について」 ・ ワークショップ ・ まとめ／閉会

※進行予定や協議時間等については予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

講師

◎ = 座長（五十音順、敬称略）

網代 洋一	国立病院機構 横浜医療センター 循環器内科 部長
上野 正紀	国家公務員共済連合組合 虎の門病院 消化器外科 部長
西條 文人	独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 外科 外科部長 内視鏡下手術センター 副センター長
鈴木 利保	東海大学医学部付属病院 副院長
徳嶺 譲芳	杏林大学医学部 麻酔科学教室 教授
長谷川 隆一	獨協医科大学埼玉医療センター 集中治療科 院内教授
三木 保	東京医科大学病院 副院長 医療の質・安全管理学分野 主任教授
◎ 米井 昭智	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 院長補佐 医療安全管理室担当
萬 知子	杏林大学医学部 麻酔科学教室 主任教授
渡部 修	JA長野厚生連 佐久総合病院 救命救急センター 副部長

日程

	開催日程	会場	受付期間
第1回	2018年7月6日(金)	日本医療機能評価機構 9階ホール (東京千代田区)	受付終了
第2回	2018年8月17日(金)		6月13日(水)～19日(火)
第3回	2018年11月30日(金)		10月上旬
第4回	2019年1月11日(金)		11月下旬